



平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年3月6日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	3,741	5.7	541	△6.9	546	△6.8	396	10.5
26年4月期第3四半期	3,538	4.8	581	16.3	585	16.1	358	16.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年4月期第3四半期	23.66		23.37					
26年4月期第3四半期	21.42		21.24					

当社は、平成26年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	4,513	3,965	87.6
26年4月期	4,357	3,687	84.5

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 3,955百万円 26年4月期 3,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	32.00	32.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割は平成26年11月1日を効力発生日としておりますので、平成26年4月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

3. 平成27年4月期の業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,984	4.6	673	△6.3	676	△6.9	434	△2.6	25.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年4月期3Q	17,464,000株	26年4月期	17,464,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年4月期3Q	718,108株	26年4月期	718,108株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年4月期3Q	16,745,892株	26年4月期3Q	16,745,892株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成26年11月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日本銀行の金融政策などにより、所得や雇用環境の改善傾向が見られ、景気はゆるやかな回復基調が続いております。

景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供するメモリアルデザインサービス事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

また、新サービスとして「選べるギフト」に特化したECプラットフォーム「ギフトネットコム」をリリースいたしました。

このような状況のもと、既存事業での着実な成長と、新規事業への先行投資のバランスに配慮して、事業を推進してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(メモリアルデザインサービス事業)

当事業におきましては、堅調な新規顧客獲得による遺影写真加工収入や動画など葬儀演出ツール関連売上が伸長するとともに、額の売上も順調に増加いたしました。また、経費面におきましては、展示会向けの広告宣伝費や人件費が増加しました。

その結果、売上高は1,699,273千円(前年同四半期比104.1%)、セグメント利益は557,633千円(前年同四半期比103.8%)となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

当事業におきましては、プロフェッショナル写真市場では、高評価をいただいている「オンデマウント」「ZENレイフラット」などの拡販に重点的に取り組むほか、「オンデマウント」を活用したフォトコンテストを企画しました。一般消費者市場では、マイブックにラミネート加工を施した製品をラインナップに加えるとともに、引き続き各種イベントへの出展や企業とのタイアップによるサービスの提供を強化してまいりました。

海外向け売上は競争環境が厳しく苦戦しているものの、国内プロフェッショナル写真家向け売上、一般消費者向け売上とも着実に増加いたしました。費用面につきましては、水害の発生に伴い、修繕費や印刷機の買換えによる減価償却費が想定外で生じました。また、展示会への出展の充実により広告宣伝費、人員増強により人件費がそれぞれ増加いたしました。

その結果、売上高は1,996,959千円(前年同四半期比105.9%)、セグメント利益は412,572千円(前年同四半期比104.2%)となりました。

(エアリアルイメージング事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指し、平成23年3月に開始した事業であります。

当事業におきましては、空中結像を可能にする特殊なプレート(AIプレート)の試作品を販売してまいりました。また、平成26年10月に出展したCEATECでの反響が大きく、多くの問い合わせをいただき、積極的にデモンストレーションを行いました。

生産面では、AIプレートの量産技術の確立を最優先課題として取り組んでおり、複数の素材、複数の製造方法による試作を繰り返しており、課題をクリアしながら、前進しております。また、独自技術を強固にするため特許を積極的に申請してまいりました。

その結果、売上高は45,081千円(前年同四半期比213.2%)、セグメント損失は61,060千円(前年同四半期は56,416千円の損失)となりました。

(その他)

平成26年12月から、「選べるギフト」に特化したECプラットフォーム「ギフトネットコム」サービスを開始いたしました。これまでにないコンセプトには高い評価をいただいておりますものの、システムの手直し、商品内容の充実、商品の見せ方のブラッシュアップなどの課題を認識しており、これらに重点的に取り組んでおります。

その結果、ギフトネットコードの発行金額は5,853千円となり、コードの未交換もあり、粗利ベースでの手数料収入は503千円にとどまりました。また、広告宣伝やシステム開発等が発生したことにより、損失は47,271千円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,741,752千円(前年同四半期比105.7%)となり、利益面につきましては、メモリアルデザインサービス事業およびパーソナルパブリッシングサービス事業では売上増に伴い順調に利益が増加したものの、ギフトネットコムでのシステム開発に係る費用や広告宣伝費等の先行費用が発生したため、経常利益は546,184千円(前年同四半期比93.2%)となり、水害の発生に伴う受取保険金77,819千円を特別利益として計上したことにより、四半期純利益は396,182千円(前年同四半期比110.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ156,009千円増加し、4,513,464千円となりました。これは主に、現金及び預金が196,861千円減少した一方、受取手形及び売掛金が108,698千円、有形固定資産が193,915千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ122,225千円減少し、547,574千円となりました。これは主に、未払法人税等が64,600千円、賞与引当金が52,800千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ278,235千円増加し、3,965,889千円となりました。これは主に、剰余金の配当として133,967千円計上した一方で、四半期純利益を396,182千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月10日に発表いたしました平成27年4月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,911,024	1,714,163
受取手形及び売掛金	552,595	661,293
商品及び製品	82,350	84,121
仕掛品	17,035	14,922
原材料及び貯蔵品	42,294	43,096
その他	90,495	90,619
貸倒引当金	△5,329	△6,048
流動資産合計	2,690,466	2,602,168
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	482,394	472,110
土地	432,702	432,702
その他(純額)	343,180	547,379
有形固定資産合計	1,258,277	1,452,192
無形固定資産	218,496	250,941
投資その他の資産	190,213	208,161
固定資産合計	1,666,987	1,911,295
資産合計	4,357,454	4,513,464
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,686	98,430
未払法人税等	165,800	101,200
賞与引当金	112,000	59,200
その他	276,271	280,275
流動負債合計	658,758	539,106
固定負債		
退職給付引当金	8,114	6,795
その他	2,928	1,673
固定負債合計	11,042	8,468
負債合計	669,800	547,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,704,647	2,966,862
自己株式	△122,635	△122,635
株主資本合計	3,678,896	3,941,111
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,101	14,088
評価・換算差額等合計	3,101	14,088
新株予約権	5,654	10,689
純資産合計	3,687,653	3,965,889
負債純資産合計	4,357,454	4,513,464

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	3,538,888	3,741,752
売上原価	1,714,274	1,814,306
売上総利益	1,824,613	1,927,446
販売費及び一般管理費	1,242,929	1,386,054
営業利益	581,684	541,392
営業外収益		
受取利息	1,181	1,216
受取配当金	689	894
受取手数料	436	438
為替差益	1,152	885
その他	661	1,358
営業外収益合計	4,120	4,792
営業外費用		
支払利息	14	—
営業外費用合計	14	—
経常利益	585,790	546,184
特別利益		
受取保険金	—	77,819
特別利益合計	—	77,819
特別損失		
固定資産除却損	1,450	392
特別損失合計	1,450	392
税引前四半期純利益	584,339	623,611
法人税等	225,627	227,429
四半期純利益	358,712	396,182

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシ ングサービ ス事業	エアリアルイ メージン グ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,632,735	1,885,011	21,141	3,538,888	—	3,538,888
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,632,735	1,885,011	21,141	3,538,888	—	3,538,888
セグメント利益又は損失 (△)	537,072	395,974	△56,416	876,630	△294,945	581,684

(注) 1 セグメント利益の調整額△294,945千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	メモリアル デザイン サービス 事業	パーソナル パブリッシ ングサービ ス事業	エアリアルイ メージン グ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,699,273	1,996,894	45,081	3,741,249	503	—	3,741,752
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	64	—	64	—	△64	—
計	1,699,273	1,996,959	45,081	3,741,314	503	△64	3,741,752
セグメント利益又は損失 (△)	557,633	412,572	△61,060	909,145	△47,271	△320,481	541,392

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ギフトネットコム」サービスであります。

2 セグメント利益の調整額△320,481千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。